

技術とモノづくりを「ムス」び、住空間を豊かにする

The fusion of technology and manufacturing spirit to enrich living spaces.

WATOMOS(ワトモス)事業とは？

「和」の技術と精神を住空間に残すための事業(及びそのコンセプト名)

The business of preserving the 'WA' spirit and unity in living spaces.

<https://www.watomos.com/>

ビドーパル事業とは？

「技術とモノづくり」を支援する住空間専門の通販システム事業

The e-commerce system business specializing in supporting 'technology and manufacturing spirit' in living spaces.

<https://www.bidoorpal.com/>

継続的創意工夫と感謝によって人間成長(R)を実現する

継続的創意工夫:【知恵】よく考える = 真: 知性

モノづくり精神は創意工夫で培われる

感謝⇒【善意】へ(他者を大切に思う心、役に立つものを提供する心)

「新しい価値」は日頃の感謝の気持ちから「善意(意志)」によって創られる

感謝: 他人の行為に対する反応。他人の行動や支援に対して、肯定的な反応や評価・認識を示す内面的な感情。

善意: 自分の行為の動機で、他人の幸福や利益を考えて行われる行為や態度であり、他人への配慮や親切心、思いやりを基にした行動

人間成長(R) :【美】調和のとれた高い人間性

自己の成長で周囲を成長さようとし、理想を持った謙虚で美しい様

※人間成長(R)は、エン・ジャパン株式会社の登録商標です。

株式会社ビドー: 仕事理念(2024)

基礎編

プロとは？

【職業的な意味】

何かの分野や職業で、専門的な技術や知識を身につけて、
それで生計を立てることができるようになること

【精神的な意味】

自分の仕事に対して、高い責任感や誠実さ、向上心や創造性を持ち、常に
相手の期待を超える成果を出そうとする こと

一流とは何か？

三流: 周囲や依頼者の期待を超えない

二流: 周囲や依頼者の期待通り(見た目や表面的な印象ですぐに三流に下がる)

一流: 周囲や依頼者の期待を 超える



120%を目指す

企業の正体:企業は思考と行動で出来ている

仕事と時間:

人生で最も多くの時間を使うもの = 仕事
時間 = 命 (人生の価値)

価値ある仕事:

賃金が上昇する仕事
人間性が向上する仕事

あなたの時間をどんな思考と行動で過ごす？

企業活動の本質(**思考と行動の全て**)

①利益

売上向上 (企業利益に繋がるユーザーメリットの提案)

経費節減 (コスト意識⇒標準化・効率化・ミス軽減)

②人間成長(R)(調和の取れた高い人間性)

自己の成長で周囲を成長さようとし、理想を持った謙虚で美しい様

ものづくり精神 (よく考え、役に立つものを作る) ⇒集中⇒善意

利他精神 (他者:ユーザーや仲間のメリットを考える)⇒感謝⇒善意

※人間成長(R)は、エン・ジャパン株式会社の登録商標です。

人間成長(R)の捉え方

継続的創意工夫とワークハード120%で

あると信じている自己能力
与えられている仕事の範囲



幻想...を



自発的に気づき、仲間と共に

超える

※人間成長(R)は、エン・ジャパン株式会社の登録商標です。

仕事の種類

ルーチンワーク

- ・日常的に繰り返される定型的な作業(人格形成にも関連する)
- ・予測可能で時間管理が容易
- ・緊急でないが重要な業務を確実に遂行することができる

プロジェクト

- ・特定の目標達成のために期間を定めて行われる一連のタスク
- ・明確な開始点と終了点がある
- ・チームによる進行管理やチームワーク(協力)が必要

役割

- ・個人の役割に基づいて期待される業務
- ・個人の専門性や責任範囲、成長目標等に密接に関係している
- ・組織内での個人の位置づけを反映するもの

ルーチンワーク(習慣)の重要性

心理学者・哲学者のウィリアム・ジェームスの言葉

心が変われば、行動が変わる

行動が変われば、**習慣**が変わる

習慣が変われば、人格が変わる

人格が変われば、**運命**が変わる

古代ギリシアの哲学者、「万学の祖」とも呼ばれるアリストテレスの言葉

人は物事を繰り返す存在である

したがって、優秀さとは行動によって得られるものではない

習慣になってなければならないのだ

ルーチンワーク(習慣)のリスク

ルーチンワーク=「型」⇒「これさえやれば OK...」←本当??



1.クオンティティステージ

仕事の基本的な「型」を学び、量的な目標に焦点を当てます。ここでは、作業のスピードと効率を上げることが重要であり、繰り返しによる習熟が求められます。

2.クオリティステージ:

仕事の質に注目し、細部にわたる注意と精度を高めることを目指します。この段階では「型」に従いつつも、品質を向上させるための改善点を見つけることができます。

3.ディープステージ:

より深い理解と知識を求められます。ここでは、仕事の背景や理論について学び、より複雑な問題解決能力を養います。想像力が求められる場面も増え、「型」を超えた思考を始めることができます。

4.クリエイティブステージ:

自らの想像力をフルに活用し、革新的なアイデアやソリューションを生み出すことが期待されます。この段階で、「型」にとらわれず、自由な発想で仕事に取り組むことができるようになります。

各業務ステージ にルーチンワークはあるが、想像力による改正が必要

クオンティティステージに必要な適応力

業務の流れや全体像を迅速に把握し、多数のルールの中から重要なものを選び出して適用する力。



新しい状況に対する柔軟な対応と、必要な情報を効率的に学習する能力も含まれる。

業務ルールの詳細を全て暗記するのではなく、大局的な視点から業務をイメージ(理解)し、必要な時に適切なルールを適用することで、効率的に業務を進める。

クオンティティステージに必要な逆説思考

最終的な成果や目的を明確に設定し、そこから逆算して必要な行動やタスクを特定する考え方



従来のルールを順番にこなすのではなく、柔軟かつ効率的な業務遂行を考える。

緊急かつ重要なタスクは即時に対応し、重要だが緊急でないタスクは計画的に実行することで組織の目標や締め切りを基に行動を決定します。

「嫌い」を「嫌いにならない」技術

【業務の場合】

習慣化された行動は、人間に安定感と予測可能性をもたらし、タスクへの抵抗を減少させる。

タスクを小さな単位に分割し、感情を排して行うことで無意識の流れの一部となり、自然に行えるようになる。

【人間関係・出来事・状況の場合】

不安・怒り・嫉妬というネガティブな感情を抑えることで「被害者」「加害者」意識からはずれ、自然にふるまえるようになる。

正解や不正解というジャッジでなく

「もし、この嫌な(他者との)関係性が自分自身が呼び寄せているとしたら ...？」

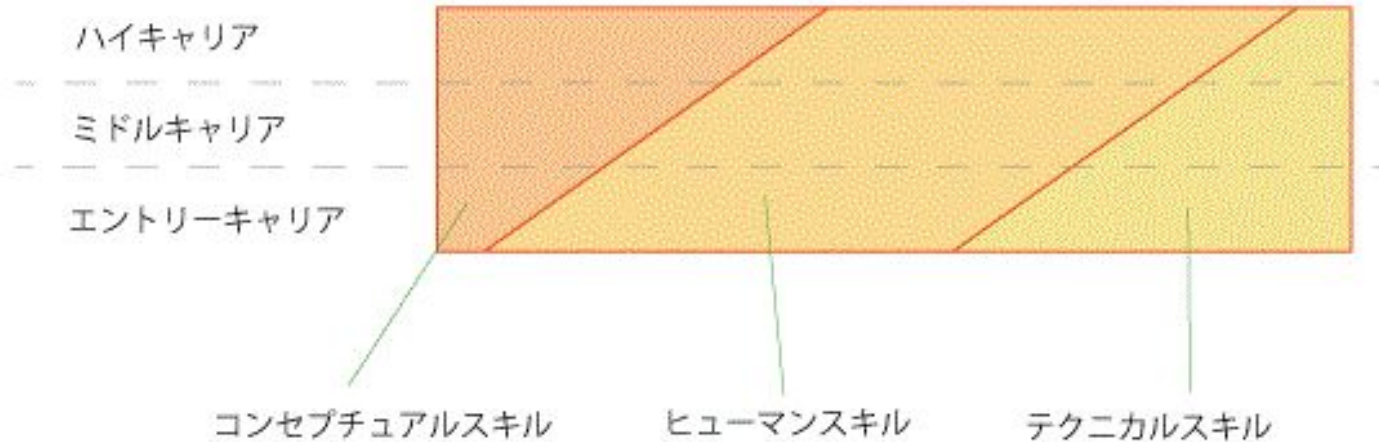
「この関係性が自分に伝えようとしていることは何だろうか？」

株式会社ビドー: 仕事理念(2024)

スキルと考え方編

カツモデルの3つのスキル

組織に必要な能力を3つに分け、どの能力をどの程度身に付けておきたいかを階層化したもの
※アメリカの経営学者ロバート・L・カツによって提唱(『スキル・アプローチによる優秀な管理者への道』)



ヒューマンスキル(5つの対人関係力)

※エン・ジャパン株式会社創業者 越智通勝氏によって提唱(「エン・ジャパンの飛躍を支えたCSA経営」)

・好感演出力

他者の目に映る“感じのよさ”を意識し、挨拶や笑顔、コミュニケーションのとり方などを工夫している

・キモチ伝達力

相手に自分のことを理解してもらうために、自分の感じた喜びや悲しみを、能動的に、率直にそのまま伝えている
良し悪しではなく、できるだけ早く

・対人傾聴力

相手を理解するために、受容的・共感的な態度で、相の話に積極的に耳を傾けている

・他者活用力

社内外の組織や個人に、気持ち良く協力してもらえるよう働きかけ、結果と感謝を伝えている

・対人大善力

その時は嫌われても、相手の成長や発展のために、葛藤をおそれず、率直に、指摘、進んでいる(部下・同僚・上司・クライアントを問わず)

コンセプチュアルスキル(2つの構築力)

※エン・ジャパン株式会社創業者 越智通勝氏によって提唱(「エン・ジャパンの飛躍を支えたCSA経営」)

自分の仕事や組織の現状を分析し、物事の本質を捉え、課題を解決する能力。
当社では以下の2つのポイントに集約している

言語化力

論理的表現力で一般化できる力

組織貢献力

組織内での個人の役割を超え、組織全体の目標達成と発展に直接的に影響を与える力

言語化の定義(6つの力):知恵・知性

- ①**仮説立案力** : 発想研磨、問題発見、既存改善発案、新規アイデア創案
- ②**仮説検証力** : 主観だけでなくユーザー目線での検証
- ③**逆説思考力** : 目標から行動を決める考え方
- ④**論理思考力** : ロジカルシンキング
- ⑤**批判的論理思考力** : クリティカルシンキング
- ⑥**質問力** : 真意の確認+思い込みや認知バイアスを防ぐ

※思い込み : 個人が持つ固定された信念や仮定のこと。意識的に持たれることが多い。

※認知バイアス: 直感やこれまでの経験にもとづく先入観によって無意識に生じる思考の歪み。
自分の信念を支持する情報だけを探してしまう傾向などの普遍的な心理的傾向

言語化のプロセス: 知恵・知性

① 拡散

- ・**情報収集**: 仮説立案力参照
- ・**概念図制作**: 白版、ノート、グーグルドキュメント等を使って自由に
- ・**ブレインストーミング会議**: 否定せず、自由に、アイデア連結し、笑いながら ...

② 集約

草案: 立案者のアイデアを壊しても、ユーザー目線のクリティカルシンキングでブラッシュアップする案

α版: 有識者でさらに議論を重ねる為の案

β版: 有識者以外の人からの意見も取り入れる案

完成版

創意工夫 継続のヒント

リセット(休息) & エンジョイ(楽しく)

コンセントレイション(集中)

危機に直面した時の対処法:

アニメ:ライザのアトリエ～常闇の女王と秘密の隠れ家～の登場人物「リラ・ディザイアス」の戦士の基礎「危機に直面した時の対処法」として紹介された言葉

- ①冷静に(落ち着くが ...)
- ②集中し(リラックスではない)
- ③退路(逃げ道)を確保し、

目の前の相手に挑む

賢さとは？

高学歴に代表されるようなQの高さだけではない。複数の能力や特性を組み合わせた複合的な概念。

認知能力：

物事や情報を正確に理解し、それらを適切なカテゴリーに分けて整理する能力

問題解決能力：

複雑な問題に直面した際に、効果的な解決策を見つけ出し、適用する能力

学習と適応能力：

新しい知識を習得し、変化する環境や状況に柔軟に対応する能力

コミュニケーション能力：

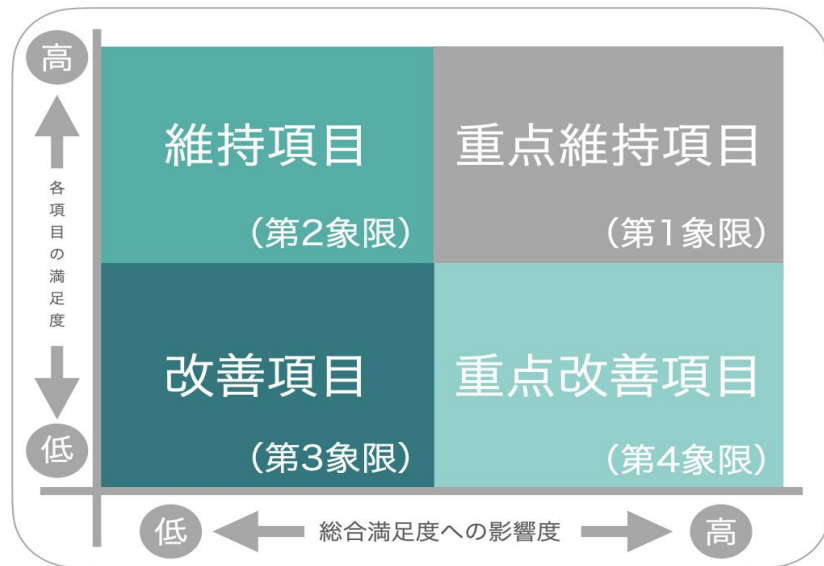
自分の考えを明確に伝え、他者との意見交換を通じて共通の理解を築く能力

意思決定能力：

利用可能な情報を基にして、最善の選択を行う能力

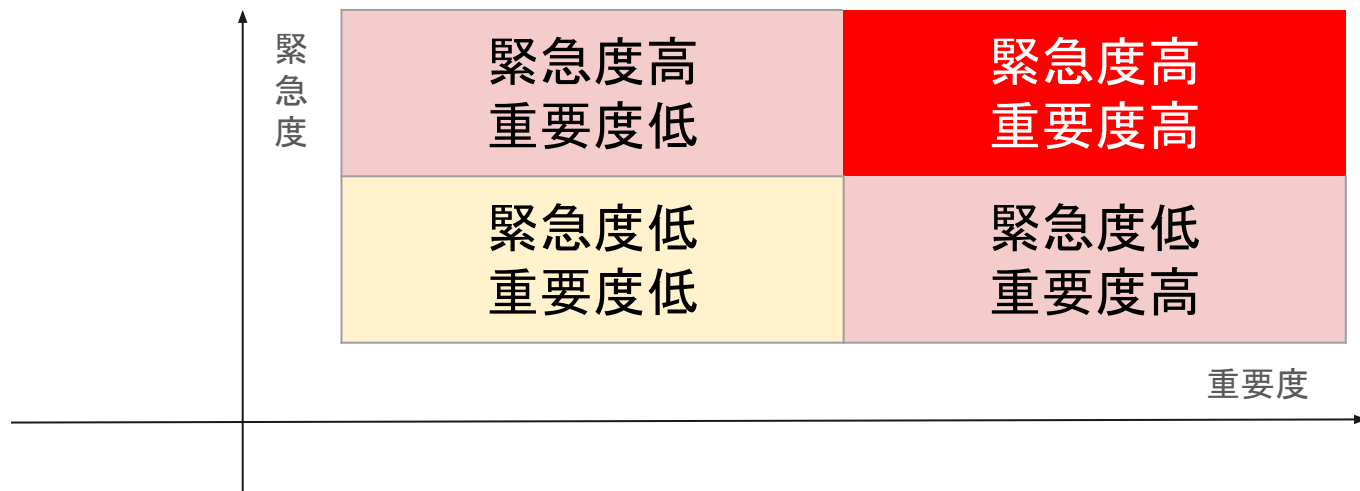
コンセントレーション技術(複雑で難解な問題は ... ?)

ポートフォリオ分析



重要な2つの指標を軸とした二次元のグラフを作成し、4つのエリア(4象限)に分けることで、注力すべき範囲を選定する手法

仕事は 緊急度と重要度で判断(今すぐ？後だが継続？)



判断基準に迷った場合の優先順位

①ユーザー(クライアント)⇒②組織(仲間)⇒③個人の主観

標準化は何のために行うのか？

業務拡大のために行うものである

他者に伝達できるレベルに整理分類できている？



- ・新しい分類の傾向が見えて来る⇒再分類により効率が上がる
- ・休暇が取れる⇒新人教育に活かせる⇒別の重要な仕事ができる⇒業務が拡大する

渡す相手がいなくても？

- ・一般的には渡す相手が出来てから？？？⇒それでは **遅い！**
- ・相手ができてからやるという **一見すると効率的思考が 逆にグズグスとなる？！**

自己改善出来ていない ⇒更なる標準化を**想像(クリエイティブ思考)**できてない

精一杯やっている ⇒これくらいやれば充分だろう。⇒自分はこんなもの: **諦め(自己変革なし)**
準備をしてないと.. イザという時、渡せない⇒渡さない理由になる **業務の既得権化(自己変革なし)**

MORSの法則(行動と呼べるものに定義する):知恵:知性

言語化したものを行動に変更する場合、内容が曖昧では 受け取る側の解釈違いや常識違いによって 行動を徹底できません。

◆Measured(計測できる)

どのくらいやっているかを数えられる(数値化できる)

◆Observable(観察できる)

誰が見ても、どんな行動かがわかる

◆Reliable(信頼できる)

誰が見ても、同じ行動だとわかる

◆Specific(明確化されている)

誰が見ても、何を、どうしているかが明確である

PDCA(プラン・ドゥ・チェック・アクション)

日本古来の継続的改善手法: 100年継続できた理由

違和感・問題点を見つけたら(観察したら: 知ってしまったら…)

仮説P → 行動D → 評価C → 改正A



疑問、違和感を放置しない。あきらめずやり続ける。
成功したら、他に応用が利くか **再度仮説立案**

組織運営の基礎

日常承認の上に全てが成り立つ

組織が円滑に進むために必要な運営体制は「業務遂行」や「定型業務」の標準化だけでは難しい標準化の上にある「日常商品」が最も重要である

日常承認(メンバー間のコミュニケーション)を活発にすることで目標達成を遂行する

- ・「目標」の共有
- ・「目標」と「手段」の切り分け共有
- ・「手段(具体的な方法)」と「期間」の進捗確認
- ・各部署との「ホウ・レン・ソウ」

「そ・わ・か」の波動:「運」の引き寄せ

日本の作家。心学研究家。コンセプター(基本概念提案者)の小林正観氏のメッセージ
※参考:小林正観(著)「ありがとうの神様」

・「掃除」の「そ」

「見た目」「心」「身のまわり(とくに、トイレや、台所などの水まわり)」をキレイにすることによる波動

・「笑い」の「わ」

「笑顔」や「笑い声」は、いろいろな出来事や現象、事件などを、「肯定的に受け止めた」ことの波動

・「感謝」の「か」

「ありがとう」は、元来、「神様に対しての感謝の言葉。言うだけで、いろいろな奇跡が起こるという波動

掃除も笑いも感謝も、いつでも、ひとりででき、お金がかかりません。

「実践」が「結果」を生じます。実践すれば必ず、「運」がやってきて、楽しくおもしろい現象が生まれます。

真摯(しんし)さの重要性

多くのチャレンジをする人は多くの間違いもする
間違いを発見したら、犯した間違いを隠すのではなく
「真摯」に受け止め、間違いを繰り返さない行動・言動・公表が重要

ピータードラッカー「マネジメント」より抜粋

「真摯さはごまかせない。ともに働く者と共に部下は、上司が真摯であるかどうかは数週でわかる。無能、無知、頼りなさ、態度の悪さには寛大かもしれない。だが、真摯さの欠如は許さない。そのような者を選ぶ者を許さない。」

「仕事上の真摯さ」＝プロフェッショナルとしての誠実さや責任感

仕事に対して誠実であることが、成果を上げ続けるために重要。

例えば、古代ギリシャの彫刻家が、見えない部分まで彫刻を施したように、誰も見ていないところでも手を抜かず、追求する姿勢が大事

「人間としての真摯さ」＝個人の道徳的な誠実さや倫理観

真摯さが欠けている人は組織を破壊し、重要な資源である人間性を損なう。

真摯な人は、自分の言動に一貫性があり、他者に対して誠実である。

「ムスビ」とは？

複雑に絡み合いながら新しい存在を産みだす力

産霊(うむすひ) : むすひ

知恵 : 知性の結び

ビド一の企業理念

技術とモノづくりを「ムス」び、住空間を豊かにする

ビドーは、あなた自身の「ムスビ」を考える場

そ・わ・か

危機の対処法

【和】の概念

PDCA

言語化

MORS

真摯さ

拡散と集約

緊急と重要

ポート
フォリオ